



「^み見えないけど^{たいせつ}大切なこと」

^{かいりじちよう おおさわ せいいち}
ちいろば会理事長 大澤 星一

^{しんぶん}新聞や^{しんがた}ニュースでは^{れんじつほうどう}新型コロナウイルスのことが^{たし}連日報道されています。^{かか}確かにコロナウイルスに^{おも}罹る
^{しんばい}のは心配ですが、^{ほうどう}報道などでの^と取り上げ方は^あちょっと大騒ぎだ^{かた}なとも思ったりします。

^{せんじつ}先日は、^あ安倍首相が^{べしゆしやう}全国の^{ぜんこく}小学校、^{しやうがっこう}中学校、^{ちゆうがっこう}高校へ、^{こうこう}3月2日から^が春休みまで^{にち}休校するよう^{はるやす}要請する
^{はつびやう}と^{とつぜん}発表しました。^{おも}突然のことでした。

^{あい}愛の^{そのやうちえん}園幼稚園も^{さんこうちやう}三郷町が^{こうりつ}公立の^{やうちえん}幼稚園、^{しやうがっこう}小学校、^{ちゆうがっこう}中学校を^{きゆうえん}休園・^{きゆうこう}休校にするという^{はんだん}判断を受けて、^う春
^{やす}休みまで^{きゆうえん}休園することになりました。それでもやっぱり、この^{はんだん}判断は^{ただ}正しかったのかどうか、^{いま}今でも^{ぎろん}議論
^{はる}されています。

でも、^{れんじつ}連日の^{さわ}コロナウイルスの騒ぎで^{おも}思うことは、^{もんだい}ずっと問題になっていた^あ安倍首相を^{はじ}始めとする、
^{せいじか}政治家が^{せつめい}説明しなければいけないことが、^{わす}忘れられてしまっているのではないかと、ということです。ある
^{いは}いは、^わメディアもそれを^{せいふ}分かってやっているのかどうか、^{せいじか}政府が^{せつめいせきにん}政治家の説明責任の^{わす}ことを忘れさせよう
としているのではないかと、ということです。

この^{さわ}コロナウイルスの騒ぎで、^{だいじ}大事なことが^み見えなくなってしまうてはいけないのではないのでしょうか。
^{わたし}私たちの^{せかい}世界は、^{じつ}実は^め目に見えるもの^みの^なだけで^た成り立っているのではありません。^め目に見えないけれど、
^{たいせつ}大切なこと^{くうき}や^{ふつう}ものが^めたくさんあります。空気も^み普通は^み目に見えないものですが、^{だれ}なくてはならないもので
^{ひと}す。人の^{こころ}心というものも、^{ふつう}普通は^め目に見えないものですが、^{だいじ}大事な^{だれ}ものです。^{なに}誰かや^す何かを^{かん}好きと^{うれ}感じた
^{うれ}り、^{たの}嬉しいとか^{かな}楽しいとか、^{いや}もちろん^{かん}悲しいとか^{からだ}嫌だとか^{いちぶ}感じたりする^{だれ}体の^{なに}一部です。^{たいせつ}誰かや^{おも}何かを大切
に^{おも}思うところ^{おも}です。

^{きやうかい}教会では、^{かみ}神さまや^{わたし}イエスさまが^{いっしょ}私たちと^{しん}一緒にいてくれていると^{かみ}信じています。もちろん、^{かみ}神さまも
^{ちよくせつ}直接^み見ることは^{むずか}できない(なかなか^{せいしよ}難しい?)ですし、^{なか}イエスさまも^し聖書の中で^でしか^き知ることは出来ませ
^{かみ}ん。それでも、^{かみ}神さまや^{わたし}イエスさまは、^{たいせつ}私たちを^{しん}大切にしてくれと^{しん}信じていますし、^{かみ}また^{しん}いろいろなことを
^{わたし}私たちに^{おし}教えてくれると^{かんが}考^{くさ}えています。^き草や^{はな}木や^{どうぶつ}花や、^{おし}たくさんの^{わたし}動物たちや^{おし}虫たち、^{わたし}それから^{わたし}私たち
^いが^で生きることが出来るのも、^た食べ物や^{みず}水や^{くうき}空気だけでなく、^{かみ}神さまや^{おも}イエスさまのおかげだと思ひます。

こんな^{ふう}風に^め目に見えるもの^みの^みだけに^{はいご}とらわれてしまうのではなく、^しその^{かん}背後にあるものをも^{かん}知ったり、^{かん}感じ
^すて^で過ごすことが^{おも}出来ればと思ひます。

「ゆうとおん」さんとの交流会

2020. 2. 21



昨年ちいろば園は開設30周年を迎え、改めて「利用者主体の事業所づくり」を目標に掲げて活動しています。これまではなかった取り組みとして利用者のみなさんの自治会組織（「みんなの会」）をつくり、7名の利用者のみなさんが「ちいろば園の利用者のみんなが主役になること」をめざし、毎週火曜日の定例会や、利用者全員でおこなう合同終礼の司会進行、法人職員に対する面接、他団体との交流などの場で活躍しています。

先日、昨夏ちいろば園に交流に来てくれた「ゆうとおん」さんからお誘いがあり、「みんなの会」の7名が訪問し、ゆうとおんの当事者の会「みんなできめる会」のみなさんと交流してきました。とってもあたたかく迎えてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。

ゆうとおんの皆さま、大変お世話になりありがとうございました。（文責：ちいろば園主任 奥田陽子）



ゆうとおんさん、行った。楽しかった！
風船 パーンって した。楽しかった。パン、買った。
歌、うたった♪ 日々～恋をして～♪（Superfly『フレア』）、うたった。
また、行こっ！ 吉岡佳菜



よかったこと1ばん。風船バレーが楽しかったです。むずかしかった。手、当たらない空振りの時もあった。よかったこと2ばん。自分のことが話せてよかったです。
ヘルパーさんのことを聞かれたので、「今お母さんが入院しているから、ヘルパーさんと万代（スーパー）に行っています。」と言ってよかったです。
ちいろば園では、4月から「なかまのコーナー」を担当します。みんなが発表しやすいように司会をがんばります。 前平正恭



カメラを持って行きました。録音しました。「ぼくは奈良市にある音声館に休みの日いつも行っています。うどん屋さん、マクドナルドにも行っています。」と話しました。プリキュアの話はできなかったです。もっと自分の話をしたいです。また次行きたいです。かりんとうとクッキーとメロンパンを買いました。日之出荘（グループホーム）で食べました。おいしかったです。 松村敏康

自己紹介で「マイ ネイム イズ エリ・ヒヤマ」って言ったら、ちいろば園の森川さんも英語で言ったのでびっくりしました。交流会では、ゆうとおんのとくやさんと、ちいろば園の辰巳さんが漫才みたいでおもしろかったです。自分の意見を言えて、ものすご〜く気持ちよかったです。スカッとなりました。連絡帳のこと聞かれました。私は、ちいろば園の職員からの連絡を親にはあんまり見られたくないと思っています。今度は、「ゆうとおんさんのグループホームでどう暮らしていますか？洗濯の当番とか掃除の当番はどういうふうに分担していますか？」って聞きたいです。私は、ちいろば園の主役を職員から利用者にかえていきたい！と思っています。 平山恵理



ゆうとおんの人はみんな明るかったし、出迎えてくれたからびっくりしたし感動した。喫茶店に、店長がまさかいるとは思わなかった。風船バレーは、さわれるかなってちょっと不安やった。けど、さわれて楽しかった。自己紹介は、ぱっとひらめいたからアドリブで英語で言ってみた。質問は、前もってちいろばで準備して行ったからすんなり言えた。「好きな歌手だれですか？」って聞かれたから「B'z です」って答えたら、「どの曲が好きですか？」って聞かれて「全部好きです」って答えたら、「具体的にどの曲ですか？」って聞かれたから「ultra soulです」って答えた。(ゆうとおんの中西さんが) CMの歌うたって、盛り上がったっていうかおもしろかった。 森川佳紀



私はピープルファースト大阪大会の時、ゆうとおんバンドさんに入れてもらって舞台に上がり、気持ちよかったです。交流会の日、ゆうとおんさんがうちにキラキラをつけて「ようこそ」と書いて迎えてくれたのでびっくりしました。グループホームとちいろば園の職員の連絡帳のことを質問されました。私は、連絡帳があるのは知っているけど、中身は知らないです。自分のことを書かれているのは恥ずかしいです。今度は一緒に体操したり、歌をききたいです。みんなの会では、合同終礼でちいろば園のみんなが気持ちよく発言できるようにしていきたいです。 長尾良子



ピープルファーストの大会行って、ぼくは「(ゆうとおんの) とくやまさんになりたいな」って思った。阪神の服着てるとくやまさん、歌うまかったから好きです。マイク持って、足トントンするモノマネやりました。ぼくは、会長の挨拶をしました。もっともっとみんなの話をきく会長になりたいです。会長を続けたいです。ゆうとおんの、もちろんへ。無理矢理食べさせて下さい。 辰巳普宣



しゃしん とも しょうかい 写真で友だち紹介

このページでは、利用者の皆さんに、お友だちをひとり選んで写真を撮って紹介してもらいます。
紹介をされた人には、次号であらたなお友だちを紹介してもらうという数珠つなぎのコーナーです。

さくらだしんいち
櫻田真一さんから
くりやまのりこ
栗山典子さんを
しょうかい
紹介します



くりやま
栗山さんはいつも笑顔で私に
て
手のひらを出してくれるので
タッチをします。
いま
今まであまり経験のないことで
うれ
嬉しい気持ちになります。
こちらもつられて笑顔になります。



さくらだしんいち
櫻田真一さんから
よしおか ゆりこ
吉岡由里子さんを
しょうかい
紹介します

よしおか
吉岡さんは同じグループでおかしの
かず
数かぞえやしたじきの袋入れの作業
をしています。お話を好きな人で、
まいにち
毎日たくさん話しかけてくれます。
ほか
他の人ともたくさん話をし、
あか
明るい性格なのだと思います。



にしむらちかなり
西村周也さんから
きのしたひろのぶ
木下洋伸さんを
しょうかい
紹介します



きのした
木下さんとは日之出荘で一緒に生活をしています。
きのした
木下さんはいつもニコニコと笑いながらお話を
してくれます。
とても近くに来てくれるので私も木下さんの肩を
組んでほっぺをスリスリとしています。
わたし
私も木下さんもニヤニヤとしています。
わたし
私がハンカチを落としてしまったとき、
すぐに気がついて拾ってくれます。



ちいろば会の職員研修では、昨年度から2年にわたり、「部落差別」をテーマに学習を重ねてきました。今年1月18日(土)、奈良県立同和問題史料センターで実施した現地研修と所長の奥本武裕さんのご講演を伺った感想を二人の職員にお聞きました。

部落差別を改めて学んで・・・



《ちいろば園 生活支援員 笠井 草太》

2年間にわたり部落史の見直しをテーマに研修が行われ、①部落問題とは何か、その現状、②部落は経済的に安定した集落であったこと、③よくわからない「異質な存在」だから差別の対象になっていることを学び、今回は県立同和問題関係史料センターへ行き、実際に残されている史料を元に被差別民の暮らしの実態等について学ぶことができました。史料を通して被差別民は地域社会において重要な存在であったことがわかり、私は素直に「尊敬」の気持ちを持ちました。簡易的な表現になってしまいますが、「すごい人たち」という印象です。それと同時に、そんな人たちが「周りと違う」から差別を受け、現代においても続いていることに憤りを感じます。

学んだ内容はいずれも学校教育で学んだ内容とは異なり、私も大きな誤解を持ったまま今日まで過ぎてきました。学校教育のみで学び、成人した人々の多くが「身分の低い」「貧しい」といった認識を持っているかと思います。伝える側の情報に誤りがあり、そこを見直す機会がなければ、それがそのまま広く伝わりある意味で「常識」のようになってしまっているように感じました。自身の知識が本当に正しいのか、部落問題に限らず見つめ直さなければなりません。さまざまな差別の解決の糸口は史料や当事者から学び正しく知ること、そして正しい知識を持って発信することだと考えます。

《ちいろば園 生活支援員 井上啓樹》

今回の研修で、漫才やカレンダーなど身近な娯楽・文化・習慣のいくつかが実は源流まで遡ると部落や被差別民が担ってきた独自の役割(職能)に見ることができるという話が印象的でした。

史料センターで古くは鎌倉時代の歴史的資料を見てお話を伺うと「もっと知りたい」と思いましたし、まだまだ不勉強ながら水平社宣言にある「吾々がエタである事を誇り得る時が来たのだ」ということばの中には、地域社会で脈々と続く歴史のなかで果たしてきた役割に対する自負のころがあると感じることができました。

同時に、得体の知れないものという扱い、厳しい忌避と排除を受けてきたことを考えると現代に生きる私たちがルーツも知らずにその文化の利益だけ享受していることについて恥ずかしさのような気持ちも感じました。

研修後の質問にもありましたが、学校の授業等で子どもたちが部落史の転換について学べると良いと思いました。知り合うことで親近感や誇りのような感情を持てたり、目標とする「両側から超える」一歩になってほしいと考えるからです。



今年度 グループホームでおこなわれたさまざまなイベントを紹介します!!

ハイキング



平群の中央公園に行きました。アスレチックや長い滑り台、
噴水で遊びました。天気も良く気持ちよかったです。



各グループホームで鍋&カラオケパーティ



野菜を切ったり食器を並べたり

みんなで協力して準備しました。

特に食品製菓部門の利用者さんたちが活躍してくれました。



歌も途切れることがありませんでした。

印象に残った歌は、天木越え・津軽海峡冬景色

・ペッパー警部・昴・ふれあい・ドラえもん

・サザエさん・トトロの歌です。

皆さん全身を使って唄っていました。



せつぶん まめ 節分の豆まき



じゃんけんをし鬼を決め「今年1年、
みんなが健康でありますように」
という願いを込めて豆をまきました。



メンバーさんの誕生日会



みんなで誕生日の歌を歌い

ケーキを食べました、

皆さんとってもいい顔をしていました。



ちいろば会では、年に3回、サービスの質の向上と虐待防止を目的に日常の支援について、利用者、職員、家族、第三者のみなさんが一堂に会し、日常の具体的な支援に対する、意見交換の場として「権利擁護委員会」を開催しています。

いつも、権利擁護委員会にご参加いただいている藤本さんに権利擁護委員会の感想をお聞きました。

ちいろば会権利擁護委員会に参加して

ちいろば園親父の会 藤本 守

ちいろば園には以前、娘の千絵がお世話になっていましたし、現在もグループホームの「ユイマー」でお世話になっております。

私自身、親父の会の幹事もさせていただいている関係で初回から参加させていただいております。

とは言え、参加させていただいた当初はどのような会なのかわからないまま出席させていただいたというのが事実です。

権利擁護委員会を簡単に説明できませんし、まだまだ不勉強で間違っているかも知れません。私が一つ上げるとすれば、「気づき」が沢山あることです。

利用者だってこれがしたい、支援者でもこう対処したいということが多々あります。そのような時にも一貫していること、「人権を守る」ということに改めて「気づき」ました。

どんな時でも利用者の「人権」を尊重しなければならないこと、決して虐待にならないように行動しなければならないことに「気づき」ました。

ここでは障害者という言葉はありません。

利用者（園生）と支援者（職員）という言葉で対等の立場を表します。そして利用者も支援者も互いの

「人権」も守りながら、利用者と支援者自身の、利用者同士、支援者同士のそれぞれお互いの問題に

ついて例を挙げて、どのように解決するのが最善であったか、今後はどのように解決していくかという

ことを双方の立場から意見を出して話し合う機会です。

その結果として、お互いのに共通の認識の下、人権を守り、理解し合いながら自由に楽しい共同生活ができるのだと「気づき」ました。

利用者と支援者双方の思いに「気づき」、娘への接し方で善し悪しの判断の参考になる事が多々ありますので時間がある限り、出席、勉強させていただきたいと思っています。

最後に、たとえ小さな事でも職員の皆さんが利用者に対し真摯に向き合っておられることに感謝し

ております。保護者の皆さんも時間的な制限、園の方でも開催場所の制限などあるとは思いますが

で、交代で、できるだけ多くの保護者さんに出席をお勧めしたいと思っています。

参考までに、次回開催は2020年6月18日午前10時からです。

☆後援会費・ちいろばだより年間購読料 (2019年12月1日～2020年1月31日)

常盤紘子、玉野康二郎、馬見芳寿教会、窪田義廣、篠原範子、河野まり子、草苑幼稚園、
学校法人ひかりの子学園、日本キリスト教団浪花教会、あいのそのこども園、恵愛保育所、
堀内俊文

以上 敬称は略させていただきます

えんげいかい あんない しろとと演芸会のご案内

にちじ 2020 年 6 月 13 日(土)

開場 12 時 30 分 開演 13 時 終演予定 15 時 30 分

ばしょ ちいろば園(駐車場あり)

2年に一度のちいろば会しろとと演芸会を開催します。

歌、踊り、手品、落語、漫才・人前で披露してみたい、一芸をお持ちの方を募集中!

一お問い合わせはちいろば園 電話:0745 72 1923—



ブルーベリーのオーナー募集



2020年度のブルーベリーオーナーを募集しています。無農薬で栽培しているブルーベリーの木を自分で選
び収穫し、思う存分『自然』と『ブルーベリー』を味わいたい方、ぜひご連絡下さい。
募集口数は10口(10組)とさせていただきます。詳細については下記の担当へお問い合わせ下さい。

オーナー様がすること

- ① 5月下旬～6月上旬、ちいろば園に来てブルーベリーの株(木)を選ぶ。
- ② 7月中旬～8月中旬頃、ブルーベリーの収穫。

★場所: ちいろば園 ★1口(1株): 3800円 ★申し込み期間: 4月末まで

○お申し込みは電話にて、【お名前、ご住所、ご連絡先】をお知らせください。(平日9:00～17:00)

※10組以上の応募があった場合は抽選のうえ決定させていただきます。

●お問い合わせ先: 電話/0745-72-1923

担当 新宮まで

KSKS ちいろばだより

編集人/ ちいろば会後援会

年6回 頒価 50円

連絡先/ 奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL: 0745-72-1923 FAX: 0745-72-1924 ※番号が変わりました。

発行人/ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F